

平成31年度 都立学校・学校経営シート

校章		都立砂川高等学校		通信制課程	教育課程の徴 ◇無学年制 ◇単位制 ◇二期制(前期・後期)	進路指導								
		誰でも いつでも どこでも学べる学校 ◆ 単位制・無学年制の公立通信制高校 ◆				実績	四年制大学	6%	短大	2%	専門学校	15%	就職	17%
基本情報	所在地	〒190-8583 立川市泉町935番4		電話番号	042-537-4611	主な部活動	テニス、バスケットボール、バドミントン、軽音楽							
	アクセス	(1) 多摩都市モノレール「泉体育館」下車、徒歩3分 (2) 立川バスJR中央線立川駅北口③④番バス停より約10分「泉市民体育館」下車、徒歩3分 (3) 立川バス西武拝島線玉川上水駅より(立17)立川駅北口行約5分「泉市民体育館」下車、徒歩3分				学校評価	生徒の学校満足度 82.4%(前年度78.8%)							
	学科	普通科				入学募集	1学年相当 160人(4月)、20人(9月)、2学年相当 15人(4月)							
	在籍生徒数	在籍生徒数:男子303名、女子330名 計633名 他校併修生 計5名 総計638名				入学選抜	自校作成問題(英数国3科目を60分で実施)による学力検査あり。							
	その他	多摩地区唯一の公立通信制高校 託児室あり(利用には条件あり)		校 服	なし	主な学校行事	スポーツ大会、校外学習、文化祭(定時制課程文化祭への有志参加)							
ホームページ						http://www.sunagawa-h.metro.tokyo.jp/site/tei/								

目指す学校 働きながら学ぶ生徒や再出発のスタートを切ろうとする生徒など、多様な生徒のニーズに応える「セーフティネットスクール」

今年度の重点目標		今年度の取組と自己評価	
目標①	★ 個に応じた学力の確実な伸長 「レポート提出率」「スクーリング出席率」「単位修得率」「卒業者数」等の数値は昨年度すべて向上した。しかしセーフティネットとして期待されるには、まだ低い水準であり、今年度は一層の向上に努めていく。	入学当初からレポートに取り組まなかった生徒や、年度当初のレポートの結果ですぐに提出しなくなった生徒が多かったこともあり、数値が全体的に下降した。また、レポート提出が通期科目と半期科目では継続率が20%程度異なることから、通期科目を1年間どのように取組ませていくか、という点も大きき課題となる。目標を持った生徒は学校生活を真剣に取り組む結果を残していることから、単位修得率が高いことが結果に表れている。卒業者数を上げセーフティネットとして都民の期待に応えるためには、生徒に明確な目的意識を持たせる指導を徹底することが大切であり重要な課題である。	
目標②	★ 一人一人の生徒の居場所づくり 一人一人の生徒の居場所づくりのため、スクーリングを中心に、常に養護教諭のいる保健室、明るい図書室、分からないところが聞ける学習支援室、砂川カフェなどを設置するとともに、オープンスペースでの自立支援チームの活動やホームルーム活動、部活動、学校行事、生徒有志活動などの活性化を図る。	スクールカウンセラーやユースソーシャルワーカーを中心に生徒へ声をかけていったことから、居場所があって話しやすい環境を作ることはできていた。ただ、昼休みなど人が多いときなどに、一人で行動する場所を見つけることができない生徒がいるので、月報やHRなどを利用し対応できるように指導するとともに、定期的に巡回なども実施していきたい。部活動では顧問の指導もあり、毎週定期的にも実施されていた。学校行事については積極的に参加する生徒が中心に開催され、参加しない生徒との姿勢の差があった。今後は情報を活用するなどして、参加する生徒を増やす指導の必要がある。	
目標③	★ 外部機関との更なる連携 NPO法人「育て上げネット」による砂川カフェの実施や、学習支援ボランティアによる学習支援、NPO法人「メンタルコミュニケーションリサーチ」による「臨床心理学講座」の実施、更には立川市や立川市社会福祉協議会等との外部機関との連携をさらに推進する。	NPO法人「育て上げネット」が実施した砂川カフェによって、休み時間や空いている時間などに生徒が担当者とコミュニケーションを持つことで学校生活に積極的に取組むきっかけとなったり、相談相手のような役割を果たしていた。これを機会に「育て上げネット」の施設を積極的に利用する生徒も出てくるようになった。また、「臨床心理学講座」を実施することにより、教員が現場で生徒対応に還元することができて、生徒指導においてもスクールカウンセラーや特別支援教育心理士と効果的な活動ができた。今後も連携活動を継続し、教育活動に対して効果をより高めていくよう努力に取り組む必要がある。	

数値目標	今年度の数値目標の内容	28年度		29年度		30年度		今年度		32年度	33年度	34年度
		目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	目標	目標
目標①	通信制の学習を定着させるため、レポート提出率を向上させる(%)	70	53.5	60	49.9	60	50.6	60	48.6	65	70	75
目標②	各科目の単位の修得率を向上させる(%)	50	40.5	50	38.0	50	41.6	50	38.2	55	60	70
目標③	中途退学者を減少させ卒業生を増やす(卒業見込み生徒の卒業率 %)	70	56.4	70	55.1	70	61.6	70	55.6	75	80	85

